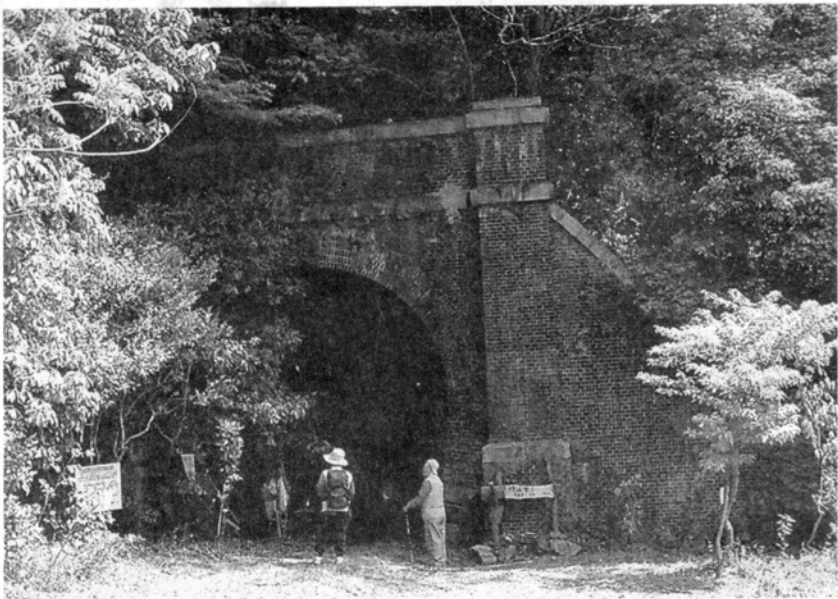


# 旧国鉄中央線・愛岐トンネル群

## 21～23日 現地見学会

トンネル再生の取り組みが展開されている旧国鉄中央線のトンネル群―再生委員会提供



の13基で、1966年に複線化で廃線になった後も、かつての姿を保っている。

トンネル見学会は昨年から始め、春と秋の連休に開いた。今年5月の見学会には県内外から約3000人が訪れるなど、レトロな雰囲気人が人気を呼んでいる。

今回は第4回で、11月21日から23日まで午前10時に開場、午後3時の閉門まで自由に散策できる。

参加希望者は、JR中央線「定光寺」駅を下車。案内に従い、徒歩で約3分の場所にある旧国鉄中央線3号と6号トンネルと廃線跡地の約1.5キロを見学する。野たて茶会(300円)、三味線やおカリナなどのトンネル内ミニコンサート、切り株を使ったプレート作りなどのイベントがある。参加無料、雨天中止。問い合わせは、再生委員会事務局(0568・87・6533)。

【小林哲夫】

旧国鉄中央線の愛岐トンネル群の保存・再生を目指して活動しているNPO法人「愛岐トンネル群保存再生委員会」(山本勝利理事長)が、一般市民や鉄道ファンを対象にした現地トンネル見学会を21日から3日間の日程で開く。先月31日から2日間は、多治見市市民活動センターなどで開く第6回NPO・ボランティア交流フェア「ぼると祭」にも参加、トンネル群再生基金としてのナショナルトラスト参加を求めるイベントを展開した。

愛岐トンネル群は、愛知県春日井市と多治見市の県境を通る現在のJR中央線に併行、全長8キロにわたる廃線ルートに残っている。明治後期に建設されたレンガ製のトンネル14基のうち

参加無料  
プレート作りや茶会も

から2日間は、多治見市